

## 第69回 卒業式

at : 本校体育館 3/6(金)



ご卒業おめでとうございます

PTA会長 加部 和宏

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、また平柳校長先生をはじめ諸先生方におかれましても、ひとしおのお慶びとPTAを代表してお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは農産高校での三年間、自然と向き合い、食を支える尊さを深く学んできました。土に触れ、作物を育て、加工し、届けるまでの一連の経験は、簡単なようでも決して思い通りにはいかないものだったと思います。しかし、その中で培った粘り強さや工夫する力が結実し、皆さんが手がけた農産物や加工品は様々なイベントで多くの来場者を魅了しました。特に農産祭は地域の方々が毎年楽しみにしてくださるほどの風物詩となっております。達成感も大きかったのではないのでしょうか。また、農産祭は学習成果や部活動の頑張りを発表できますし、クラスごとのチームワークも試される貴重な学校行事で、学年を重ねることにより高度な内容となり、成長を実感できる機会だったはずですよ。

これから進む道はそれぞれ異なりますが、学んだ知識と貴重な経験は皆さんの未来を支えてくれる根となります。感謝の心を忘れずに、新しい世界で存分に枝葉を広げてください。そして実り豊かな人生になることを心より願っています。



## 卒業生へ送る言葉

東京都立農産高等学校長 平柳 伸幸

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

晴れてこの日を迎えられた皆さんに、心よりお祝い申し上げます。

さて、日本農業新聞（令和七年四月一日）の論説に「失敗して大きくなる」という新人に向けた記事が掲載されています。

「たくさん失敗しよう。大相撲春場所で解説を務めていた琴風さんが、こんなことを言っていた。『強い人はたくさん負けてますよ。たくさん負けて、相撲を覚えていくんですよ』。負けて覚える相撲かな。そう、失敗して覚える仕事かな。それが新人の特権。でも、周囲の期待に応えようと頑張つて失敗したら、へこむよね。米大リーグ、カブスの今永昇太投手は、異国の新天地で闘うために、こんなメンタル術を身に付けたという。『完璧じゃなくてもいい。他人が求める自分を描く必要もない。自身でハードルを上げすぎないように』とスポーツ紙に語っている。理想は高く、現実は一歩ずつ。今の自分でできることを誠心誠意やる。小さなことの積み重ねがきっとあなたを成長の高みへと導いていく。』

皆さんの旅立つこれからの社会は、順風満帆な生活ばかりではありません。常に今の自分でできることを誠心誠意やるように心掛けてください。また、農産高校で農業学習を通して「豊かな心」を育んだ皆さんが、失敗を恐れずに夢に向かって挑戦し続けるとともに、社会人として大きく羽ばたくことを期待しています。

卒業を迎えられた今、これまで皆さんの成長を支えてくださった保護者の皆様をはじめ、多くの皆様に対する「感謝の気持ち」も忘れないでください。

結びに、三学年PTAの皆様にはお子様の御卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。



卒業生の皆さんへ

副校長 金子雄

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんが新入生として農産高校の門をくぐった三年前の四月、私も十二年ぶりにこの学校に戻ってきました。気が付けば同じ時間を歩み、悲喜こももも色々なことがありましたが、今日この日を共に迎えることができました。校舎の風景や農場・実習室の匂い、何気ない日常の中に、皆さん一人一人の成長の軌跡が確かに刻まれています。

私には皆さんと同じ高校三年生の娘がいます。そのため、今日この日を迎えた保護者の皆様のお気持ちは決して他人事ではありません。期待と不安、喜びと寂しさが入り混じるこの瞬間まで、どれほどの支えがあったかを思うと、感謝の念に堪えません。

これから先、思い通りにいかないこともあるでしょう。それでも、農産高校で身に付けた「手を動かし、自分で考え、命や人と向き合う姿勢」は、必ず皆さんの人生を支える力になります。自分を信じ、一歩ずつ前へ進んでください。

皆さんのこれからの歩みが、実り多いものになることを、心から願っています。

またPTAの皆様とは、力を合わせて学校の活性化に向けた挑戦ができた三年間でした。改めて、保護者の皆様の本校の教育活動への御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

いつかまた会える日を楽しみにしております。



生徒会長を終えて

— 最高の「農産」をありがとうございました —

前生徒会長  
三年三組 杉浦翔

一年前、会長という大きな役を引き受けたときは不安もありましたが、今はこの学校の代表として活動できたことを誇りに思っています。

役員の皆さんとは、時には意見がぶつかりながらも、学校をより良くするため何度も話し合いを重ねてきました。目安箱に寄せられた生徒の皆さんの率直な声と真剣に向き合い、校則の緩和や行事の改善に少しずつ挑戦できたのは、私一人の力ではなく、支えてくれた仲間、そして生徒の皆さんの協力があつたからです。

「農産をより良くしたい」という私たちの思いを、次の世代へと確かに引き継ぎます。

先生方、後輩の皆さん、そして最高の同級生の皆さん。一年間、私を生徒会長として支えてくださり、本当にありがとうございました。



## 卒業生の皆さんへ

三年一組 担任 渋谷 優里菜

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間農産高校で過ごしてきて、たくさんのドラマがありましたね。皆さんと共に過ごした日々は、初めての担任であった私にとってかけがえない時間でした。入学当初は緊張した面持ちだった皆さんが、仲間と出会い、ときにぶつかりながらも互いを認め合い、大きく成長していく姿を間近で見ることができたことを心から嬉しく思います。

学校生活は、勉強だけでなく「人との出会い」によって彩られています。友人や先輩、後輩たちとの出会い、先生たちとの出会い、多くの支えてくださった方々との出会い。そのひとつひとつが、今の皆さんを形づくっています。



アメリカの作家ヘレン・ケラーは「一人ではできることは少ないが、ともに力を合わせれば多くのことができる。」という言葉を残しました。人は出会いによって視野を広げ、支えあうことで困難を乗り越えていきます。これから皆さんは新たな環境へと歩みだします。そこでの出会いもまた、皆さんの人生を豊かにしてくれるはずです。どうか出会いを大切にし、感謝の心を忘れず、自らも誰かにとつての大切な存在となってください。皆さんの未来が、素晴らしい出会いに恵まれたものとなることを心より願っています。



## 旅立つ君たちへ

三年二組 担任 高橋 要

『さあ行くんだその顔を上げて、新しい風に心を洗おう。古い夢は置いていくがいい、ふたたび始まるドラマのために。あの人はもう思い出だけど、君を遠くで見つめてる。』

これはゴダイゴの銀河鉄道999の歌詞の一部である。当時は子供だったので歌詞の意味は良くわからなかったが、この歳になり改めてこの歌詞の意味を考えたとときは是非この歌詞を卒業生の皆に送りたいと思い私なりの解釈を書かせてもらおうと思う。※あくまで私なりの解釈だという事は忘れないでほしい。

まず『さあ行くんだ』は、卒業を控え高校生活と新しい環境との狭間で不安を抱えている人にとっては「いつまでも立ち止まっただけではダメだ、不安やプレッシャーに負けるな!」と背中を押してくれているように感じることが出来る。次に『古い夢は』は、一人ひとりのこれからのこれに対して「過去の失敗や後悔にいつまでも縛られないで前を向こう、輝かしい未来への扉はもうすぐそこにあるのだから。」と一歩前に踏み出す勇氣を与えてくれている。最後の『あの人は』という部分は「いつも君達を見守ってくれている人がいることを忘れないで。」という思いが込められている。以上のことから、この歌は皆の輝く未来を謳ったものと解釈したのだ。

では旅立つ君たちへ最後に一言。『さあ行くんだ、その顔を上げて。』卒業おめでとう。





三年生の皆さんへ

三年三組 担任 廣神 征人

高校三年間、本当にお疲れさまでした。授業に実習、部活や進路活動、友人と過ごした時間：いろいろなことがあったと思います。そんな忙しい日々を乗り越えて、今これを読んでいる三年生は本当によく頑張ったと思います。

今までは当たり前のように起きて、登校して、友人たちと授業を受けていましたが、そんな日々は今後もうありません。全員これから新生活が始まります。知らない場所や初めて会う人たち、初めてのルールや自由もたくさん待っています。緊張と不安が大きいかもしれませんが、逆にいろいろなことに挑戦できるチャンスでもあるとポジティブに捉えてください。

やってみたら意外と楽しいことや「自分ってこんなこともできるんだ」と思える発見もたくさんあります。失敗しても全然大丈夫なことが多いので、ぜひ新たなチャレンジを楽しんでください。

そして、もし迷ったり悩んだりしたときには頼れる人を見つけてください。親身になって向き合ってくれる友人や先輩が必ずいるので、そんな人たちとの関係を大事にしましょう。

皆さんのこれからの新生活に素敵な挑戦と出会いが待っているように、心から応援しています。



卒業生へ

三年四組 担任 佐藤 桃子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが「農産高校」を卒業する姿を見届けられること、心から嬉しく思います。

農産高校の生活はどうだったでしょうか。楽しいことだけでなく、苦しいことも沢山あったと思います。それでも、自分の力でなんとか乗り越え、卒業という日を迎えることができました。高校を卒業するということは、決して当たり前のことではありません。三年間、自ら学校へ行き、授業を受け、試験や課題に取り組んできた、努力の積み重ねの結果が卒業です。皆さんには、困難を乗り越える力、努力を継続する力が確実に備わっています。そのことに大きな自信をもってください。また、皆さんが農産高校を卒業するにあたっては、温かく見守ってくれたご家族や地域の方々への多くの支えがありました。その感謝を忘れず、次は自分がその恩を返せるような大人になってください。

卒業生へ。これからどんな世の中になろうとも、「自分や他者を思いやること」「自然や生き物を大切にすること」「いつまでも学び続けること」を忘れずにいてください。

皆さんのこれからの人生が、実り豊かなものになることを心から願っています。

